

日本調剤グループ保険のおすすめ（団体定期保険）

※保険（・特約）の名称は一部を省略して記載しています。＜例＞団体定期保険（こども特約付）→団体定期保険

メリット

1

お手頃な保険料

スケールメリットを生かしたお手頃な保険料で、保障が準備できます。

メリット

2

簡単な健康状態等の告知のみで、医師の診査は不要

（※1）

メリット

3

配当金も魅力

剰余金が生じた場合は、配当金が支払われ実質の負担額が軽減されます。なお、将来お支払いする配当金は変動し、0＜ゼロ＞となる可能性があります。

メリット

4

従業員本人だけでなく、
配偶者やこどももお申込み可能（※1）（※2）



（※1）健康状態等によっては、加入（増額）できない場合があります。（※2）本人の加入が必要等の条件があります。

保険料表（抜粋）※この表に無い保険金額についてはパンフレットをご覧ください。

	保障金額	保険料 （月額）
	死亡保険金額 または 高度障害保険金額	
本人・配偶者	3,000万円	4,200円
	2,000万円	2,800円
	1,000万円	1,400円
	500万円	700円
	300万円	420円
	100万円	140円

※ご本人は保険金額6,000万円まで加入可能。※必要に応じてお子様も加入可能です！

この資料は2025年7月時点の日本調剤グループ保険の概要（団体定期保険）を記載したものであり、ご契約にかかるすべての事項を記載したものではありません。お申込みにあたっては、所定のパンフレット（契約概要・注意喚起情報）を必ずお読みください。

以下の引受保険会社は、各被保険者の加入保険金額のうちそれぞれの引受割合の責任を負います。

引受保険会社および引受割合は変更されることがあります。

【引受保険会社（引受割合）】第一生命保険株式会社（43%）

〒100-8411東京都千代田区有楽町1-13-1 TEL：03-3216-1211（大代表）

明治安田生命保険相互会社（25%）、日本生命保険相互会社（15%）、住友生命保険相互会社（15%）、

富国生命保険相互会社（2%）

ご自身のライフステージに合わせてご検討されてはいかがでしょうか？

加入状況の確認・保険料のお見積り・お申込みまで

ステップ①

二次元コードまたは
URLより アクセス



※二次元コード読み取りアプリ等でアクセスした場合、ブラウザをSafariまたはChromeにして開いてください。

ステップ②

マイページ作成済の方はログイン

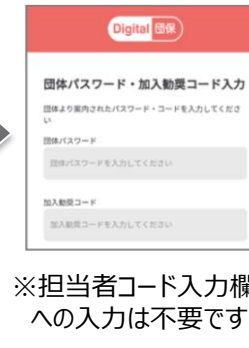


※IDをお持ちでない方は「新規アカウント作成」から登録してください。

ステップ③

必要情報を入力して「お申込み手続き」へ！

- ・団体パスワード：0598294
- ・加入勧奨コード：BNVgr4Ut
- ・従業員番号：8桁の社員番号



※担当者コード入力欄への入力不要です。



ログインURLはこちら

<https://accounts.daiichihd.com/auth/danpo-1/member/need/main?number=99999999¶m1=0598294¶m2=BNVgr4Ut&skip>

スケジュール お申込み方法	Web一斉申込受付期間	保障（責任）開始日
	2025年10月1日（水）～2025年11月28日（金）	2026年1月1日
	※加入内容に変更のない方は、お手続きは不要です。 ※Webでのお手続きができない方、上記期間外のお申込みについては、保険サービス事業部までご連絡ください。	
お問合せ・申込書類提出先	本社 保険サービス事業部 jphoken@nicho.co.jp	

皆さまの保険料で成り立っています！

●イメージ図



日本調剤グループ

保険料

事業費

支払保険金

剰余金

保険金

配当金

配当還元率

2024年度 約 63.8 %

2023年度 約 65.6 %

2022年度 約 70.7 %

（参考）2024年度実績による例

死亡・高度障害保険金額300万円にご加入の場合、月額保険料は420円、年間保険料は5,040円となりました。2024年度の配当金実績は約63.8%のため、配当金は3,215円となり、実質負担保険料は1,825円となりました。

年間払込
保険料
（5,040円）

－ 配当金
（約3,215円）

＝ 実質負担
保険料
（約1,825円）

（注）配当還元率＝配当金支払額÷年間払込保険料×100
保険期間の途中で脱退した場合、その脱退事由にかかわらず、配当金は支払われません。配当金は、毎年保険契約ごとに収支計算を行い剰余金が生じた場合に、各引受保険会社の前年度の決算実績および保険契約の加入状況等の一定の基準のもとについて計算した配当金をお支払いする仕組みとなっております。したがって、将来お支払いする配当金は変動し、0＜ゼロ＞となる可能性もあります。

記載の数値は過去の実績であり、将来の実質負担水準を示すものではありません。1年ごとに収支計算を行い、剰余金が生じた場合は、配当金が支払われ実質の負担額が軽減されます。